

おむつ講習会

社会のニーズに合わせて進化し多様化する介護用品。より快適により適切に利用するには、商品の機能や使い方の理解が欠かせません。



アウルでは10月2日(水)におむつについて、メーカーである王子ネピアの販売員を招き、通常業務終了後に1時間ほどの講習会を行いました。下着に入れるパッドタイプから下着のようにはけるパンツタイプまでさまざまな種類が紹介され、吸収後の肌触りも実際に手で触れて体感。生活や身体の状態に応じて複数のタイプを組み合わせる使い方やスムーズなあて方などを教わり、実際に身につけて試すなど、おむつの最新知識を実践的に学びました。

パッドタイプを含めると、半数以上の入居者様がおむつ利用者。勉強したことを生かして、安心して経済的な利用法をご提案していきます。



▲サンタクロースになりきるリリこ&ここな

スタッフ リレーエッセー

マイ・チャレンジ!

新年明けましておめでとうございます。1年の目標を立てる時期でもあります。が、「そ・わ・か」の法則をご存じですか。神様が好む3つの行いを実践すると運気が上がるという法則で、作家の小林正観さんが提唱しています。



介護職員 尾形 敦美

「そ」は掃除のそ。特に水回りをきれいにすると自分の悪い所が流されるそうです。「わ」は笑いのわ。いつも笑顔の人には朗らかな人が近づいてくるそうです。笑いは免疫力を高めるともいわれ、苦しい時こそ笑顔が大事なのです。「か」は感謝のか。ありがたい言葉には強いパワーがあり、感謝を忘れず言い続けていると自分の周りが変わっていくそうです。

掃除、笑い、感謝。簡単だけれど続けるのは大変。皆様との出会いに感謝し、笑顔で、もう少し掃除も頑張るのが、今年の私の抱負です。

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3

TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133

入居相談受付中 ☎0120-916-768



- 地下鉄南北線「真駒内」駅下車
- じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗車(約5分)「南町4丁目」停下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内

検索

<http://www.owlcourt.jp>



ふくろうの家 だより

その50
2020年1月

●発行/株式会社私の青い空

●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



令和2年

代表取締役 武田 治信

新しい年、清々しい令和2年、2020年を迎えました。今年は今上天皇である徳仁天皇の誕生日の2月23日が日曜日なので翌日が振替休日になるようです。即位の礼の厳かな儀式の記憶が残る中、国民皆が祝う日となるでしょう。

年末にマラソンの開催地騒動がニュースを賑わせた東京オリンピックが、今年7月にいよいよ開催され、8月にはパラリンピックも開催予定です。皆様ご存じの通り、東京オリンピックは昭和39年(1964年)にも行われています。

ここで少し過去を振り返ってみましょう。昭和7年の五・一五事件から、二・二六事件、ノモンハン事件、太平洋戦争(大東亜戦争)と戦争に向け走り、広島と長崎の原爆投下で敗戦となりました。その後は日本国憲法が公布され国際連合に加入。日米安全保障条約の締結で日米はパー

トナーとなっていきます。東京オリンピックを経た後は、昭和45年に日本万国博覧会(大阪万博)、昭和47年に札幌オリンピック、沖縄返還、昭和62年に国鉄分割民営化がありました。この国鉄民営化を行った“政界の風見鶏”中曽根康弘氏は、昨年11月に101歳のご高齢で逝去されました。首相在任当時は米国のロナルド・レーガン大統領と「ロン、ヤス」のファーストネームで呼び合うと話題になりました。その昭和は64年が平成元年となり、平成は31年が徳仁天皇への譲位で令和元年となりました。

改元後初めてのお正月に、移ろいゆく世の中であってもいつまでも平和で争いのない時代が続くよう願います。今年はぜひ平穏無事で明るく良い年となりますように。

本年もよろしくお願い申し上げます。

感涙の敬老行事

「地域に開かれた施設」をテーマのひとつとしているアウルコート真駒内。ご近所の方も足を運ばれるレストランコンサートや、外部ボランティアの受け入れなど、地域交流の機会を積極的に設けています。

入居者様が最も楽しみにされている交流行事のひとつが、学校法人札幌学園の認可保育所「遊・Wing」から園児たちが遊



びに来てくれる敬老会。毎年多くの入居者様がつい涙ぐんでしまうあたたかな交流が人気です。2019年は9月12日（木）に開催され、年長さん13名が和太鼓演奏や組体操を披露してくれました。



貴重な交流の場

似顔絵描きでは、入居者様お一人おひとりをその場で描いて作品をプレゼント。楽しいおしゃべりでお互いの距離を縮めるひとときとなりました。

園児たちの訪問も7年目となり、今ではアウル訪問は園の秋の定例行事。帰りがけには子どもたちから「もっと居たかった」の声も上がりました。米寿や傘寿などの長寿祝いが主体だった敬老会が、互いに日常接する機会の少ない世代同士の貴重な交流の場へと広がったのは、アウルとしてもうれしい変化。「遊・Wing」の皆さんに心より感謝いたします。



子どもたちと一緒に敬老会で地域交流にぎやかに！長寿のお祝い



アウルの四季彩々日記

●9/24（火）

お彼岸にアウルのお墓へ

藤野聖山園にあるアウルのお墓にお参り。ご夫婦で入居され、先立たれたご主人が眠る入居者様とともに、墓前で手を合わせました。傍らの犬の石像は初代いやし課らんこのお墓です。



●10/9（水）・11（金）

紅葉とおやきのドライブ



紅葉の見ごろには少し早かったものの、定山溪ダムの人造湖・さっぽろ湖や小金湯さくらの森で、自然の開放感を満喫。帰路は藤野の老舗おやき屋さんに立ち寄り、おやつを楽しみました。



●10/10（木）

スポーツの秋に大運動会

毎年熱戦が繰り広げられる大運動会は、前年に引き続き白組が優勝。職員変身リレーが会場を大いに沸かせました。お昼はいなり寿司・のり巻き・卵焼きのお弁当で運動会気分も満点でした。



アウルでお2人目

100歳のお祝い

10月25日（金）、アウルで6年ぶり2回目となる百寿のお祝いが開かれました。ご入居はくしくも前回の百寿祝いの年で、職員作成のスライドではそのころのスナップ写真も多数紹介。懐かしさに涙ぐむ娘様から感謝のお言葉をいただきました。

●10/16（水）

手打ちの新そばに舌鼓

味わいと香りに優れる秋の新そばを、幌加内産そば粉の打ち立て・茹でたてで堪能。揚げたての天ぷらもおいしく、職員以上にたくさん召し上がる入居者様が続出しました。

